

主な政策



産業構造の改革

経済を好循環させる産業政策の推進

目標

- ◎平成29年度までに、生活関連製造品出荷額を**66億円**アップします。(平成29年度目標額:4,408億円)
- ◎平成29年度までに、県民1人当たり小売業年間商品販売額を、**37千円**アップします。(平成29年度目標額:776千円)



戦略

- ① 意欲のある企業・起業家への支援とともに、リーディング分野、チャレンジ分野における産業を育成します。
- ② 企業誘致の推進を図ります。
- ③ 魅力ある店舗や商品を増やし、消費地としての奈良の魅力向上を図ります。



県内就業の促進

地域で働く人づくりと就業支援

目標

- ◎平成31年までに、県内で働く人の**1万人**増加を目指します。



戦略

- ① 就業意識の醸成と職業キャリア形成を支援します。
- ② 若者・女性・高齢者などへの就業支援の充実及びしごとの創出を図ります。
- ③ 働きやすい職場づくりを進めるとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進します。



観光の振興

県内での宿泊客の増加

目標

- ◎平成31年までに、観光入込客数を**4,200万人**にします。
- ◎平成31年までに、のべ宿泊者数を**280万人**にします。



戦略

- ① 意欲ある観光関連事業者とともに、観光産業の活性化やおもてなし環境の充実を図り、奈良で宿泊する周遊型観光を推進します。
- ② 旅行商品づくりやイベントの充実により、宿泊オフシーズンの解消を図ります。
- ③ ターゲットを明確にし、奈良の魅力を効果的に発信し、観光客及びコンベンションの誘致を推進します。
- ④ 地域資源を活用した観光基盤の整備とにぎわいづくりを推進します。
- ⑤ 海外に向けたプロモーション及び情報発信を推進するとともに、外国人観光客の受け入れ・おもてなし環境の充実を図ります。



農・畜産・水産業の振興

農・畜産・水産業の振興と農村の活性化

目標

◎平成35年までに、**農業産出額を446億円**に増加させます。



戦略

- 1 奈良の美味しい「食」の創造と発信に取り組みます。
- 2 マーケティング・コスト戦略に基づき、県産農・畜・水産物の振興を図ります。
- 3 意欲ある担い手の育成・確保と農地のマネジメントを推進します。
- 4 地域資源を活用した農村地域の活性化を図ります。
- 5 農・畜産・水産業振興のための体制整備を図ります。



林業・木材産業の振興

林業・木材産業の振興と森林の保全と活用

目標

◎平成32年までに、**木材生産量を25万m³**（A材148千m³、B材44千m³ C材58千m³）に増やします。



戦略

- 1 A・B・C材全てを搬出して多用途に供給する林業への転換を図ります。
- 2 A・B・C材毎の受け皿の確保及び県産材製品の安定流通の実現を図ります。
- 3 森林環境の適切な保全を図ります。
- 4 森林の公益的機能を活用します。



健康づくりの推進

健康寿命日本一を目指す

目標

◎平成34年度までに、県民の**健康寿命（65歳平均自立期間）を男女とも日本一**にします。



戦略

- 1 健康寿命日本一を達成するため、健康的な生活習慣の普及を進めます。
- 2 特定健診受診や介護予防などに取り組む人を増やし、要介護状態になる人を減らします。
- 3 疾病の早期発見や医療体制の充実などにより、65歳未満の死亡率（早世）を減らします。



医療の充実

県民が安心できる医療体制を構築

目標

- ◎平成29年度までに、県民アンケート調査（平成25年度）で重要度が高かった項目の満足度のポイントを向上させます。
 - ・「急病時に診てもらえる医療機関があること」を2.73ポイントから**3.00ポイント**に向上させます。
 - ・「安心して子どもを出産できる医療体制が整っていること」を2.65ポイントから**2.80ポイント**に向上させます。
- ※県民アンケート調査は5段階評価

戦略

- ① 高度医療の需要に対応できる提供体制を構築します。
- ② 救急医療・周産期医療提供体制を構築します。
- ③ 医師・看護師の確保を図ります。
- ④ 地域の医療機関による連携体制及び医療・介護サービスの需要に対応できる地域医療提供体制を構築します。



福祉の充実

健やかに安心して、いきいきと暮らす

目標

- ◎平成31年度までに、地域福祉を推進する**コミュニティソーシャルワーカー**を養成し、**100人の登録**を目指します。
 - ◎県民アンケート調査（平成27年度）で重要度が高かった項目の満足度のポイントを向上させます。
 - ・「障害者が住み慣れた地域で、自分に合った支援サービスを受けられること」を2.82ポイントから**毎年向上**させます。
 - ・「高齢者やその家族が住み慣れた地域で適切な介護サービスを受けられること」を2.87ポイントから**毎年向上**させます。
- ※県民アンケート調査は5段階評価

戦略

- ① 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域福祉を推進します。
- ② 障害のある人が暮らしやすいと感じることができるよう、障害者支援を充実します。
- ③ 生きがいを持って安心して暮らすことができるよう、高齢者支援を充実します。



少子化対策・女性の活躍促進

結婚・子育てを支援するとともに、女性の活躍と社会参画を促進

目標

- ◎平成31年度までに、結婚を希望する若者を増やすとともに、**結婚の希望実現率を80%**に高めます。
- ◎平成31年度までに、夫婦の『理想の子ども数』に対する『**実際の子ども数**』の割合を**95%**に高めます。
- ◎平成32年中に、**女性の就業率（20～64歳）の全国平均**を目指します。

戦略

- ① 結婚の希望の実現を図り、次代の親を育成します。
- ② 子育てを支援し、子どもの健やかな育ちを実現させます。
- ③ 女性の希望をかなえ、活躍を推進します。





学びの支援

すべての人が生涯学び続ける地域社会をつくる

目標

- ◎平成31年度までに、学習意欲の高い子どもの割合を全国平均以上にします。
- ◎平成31年度までに、規範意識の高い子どもの割合を全国平均以上にします。
- ◎平成31年度までに、子どもの体力・運動能力(男女とも、全種目)を全国平均以上にします。
- ◎「生涯を通じて教養を高め、趣味を広げられること」の満足度を高めます。

戦略

- 1 学びのステージに応じた教育を進めます。
- 2 本県の教育課題に応じた教育を進めます。



文化の振興

質の高いイベントの実施と県の文化力の向上

目標

- ◎平成28年度までに、芸術・文化を行う県民の割合を全国1位にします。
- ◎平成31年度までに、文化関連支出(世帯当たり)を全国10位以内にします。
- ◎平成31年までに、美術館・博物館・社寺等文化施設入場料支出(世帯当たり)を全国1位にします。

戦略

- 1 文化芸術への参加、鑑賞の機会や活動の裾野を拡大し、奈良の文化力を向上します。
- 2 文化資源を活用し、奈良の魅力を高めることにより地域活性化を進めます。



スポーツの振興

だれもが、いつでも、どこでも、運動・スポーツに親しめる環境づくり

目標

- ◎平成31年までに、1日30分以上の運動・スポーツを週2回以上実施し、1年以上継続している人の割合を50%以上に増やします。



戦略

- 1 だれもがいつでもスポーツを楽しめる環境の整備、地域で楽しむスポーツの推進を図ります。
- 2 あこがれ・感動を生むスポーツの推進を図ります。





安全・安心の確保

防災対策・危機管理体制の充実

目標

- ◎災害による**死者をなくす・人命を守る**ことを最大の目標に、できる限り**被害を減少**させます。
- ◎**新型インフルエンザ等の感染拡大を抑制**し、生活及び経済への影響を最小限にとどめるとともに、**食品に関する監視指導や検査情報発信**を行い**食の安全・安心の確保**に努めます。
- ◎平成28年度中に、(仮称) **安全安心の確保のための奈良県基本計画**を策定し、**犯罪抑止及び交通事故防止対策**を一層進めます。

戦略

- ① 災害に強い**県土整備**を行い、**減災対策**を推進します。
- ② 地域の**防災力**を高めます。
- ③ **感染症や食の安全・安心確保**、**消費者被害の防止**の対策を推進します。
- ④ **犯罪抑止及び交通事故防止対策**を推進します。



景観・環境の保全と創造

愛着と誇りの持てる「きれいな奈良県」の実現

目標

- ◎美しく**風格のあるまちなみ**や**多様で豊かな自然**を守り・**創り・育て**ます。
- ◎誰もが**安心して暮らせる**、**住みやすいきれいな生活環境**を創造します。



戦略

- ① 植栽の整備などにより**奈良らしい景観づくり**を進めるとともに、**希少野生動植物の保護**などにより**生物の多様性**を守ります。
- ② **生活排水対策**をはじめ、**3Rや省エネ・節電**などの取り組みを促進し、**環境負荷**を低減します。



エネルギー政策の推進

分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給

目標

- ◎平成30年度の**再生可能エネルギーの設備容量**について、平成26年度比の**1.6倍**を目指します。
- ◎平成30年度の**電力使用量**について、平成26年度比の**3.5%低減**を目指します。
- ◎平成30年度の**太陽熱システムの利用熱量**について、平成26年度比**2,000MJ/h増**を目指します。
- ◎平成30年度の**家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの利用熱量**について、平成26年度比**3,500MJ/h増**を目指します。
- ◎平成30年度の**コージェネレーションシステム(家庭用除く)の利用熱量**について、平成26年度比**2,500MJ/h増**を目指します。

戦略

- ① エネルギーを活用した**地域振興**を推進するとともに、**緊急時のエネルギー対策**を進めます。
- ② 多様な**エネルギーの利活用**を図るとともに、**奈良の省エネ・節電スタイル**を推進します。





くらしやすいまちづくり

生活者の視点から、まちの未来を考える

目 標

- ◎地域資源を活用した**住みよいまちづくり**を目指します。
- ◎「やすらぎ」・「憩い」に配慮した生活しやすい**空間づくり**を目指します。



戦 略

- 1 地域資源を活かし、住みよく、住み続けることができるまちづくりを推進します。
- 2 市町村と連携したまちづくりを推進します。
- 3 やすらぎ・憩い・にぎわい・利便性を提供する空間の創出を推進します。
- 4 バリアフリー・ユニバーサルデザインや景観に配慮した空間の創出を推進します。



南部地域・東部地域の振興

頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる地域づくり

目 標

- ◎平成32年までに、南部地域・東部地域の**交流人口(観光入込客数)**を**830万人**にすることを目標します。
- ◎平成32年までに、南部地域・東部地域の**交流人口(のべ宿泊者数)**を**70万人**にすることを目標します。
- ◎平成32年までに、南部地域・東部地域の**人口の社会増減をプラス**にすることを目標します。
- ◎自分の住んでいる**地域の活気や魅力に対する満足度を高め**ます。

戦 略

- 1 南部地域・東部地域での交流を促進します。
- 2 南部地域・東部地域での定住を促進します。



効率的・効果的な基盤整備

経済の活性化・くらしの向上を目指した県土マネジメントの推進

目 標

- ◎平成29年度までに、「選択と集中」により**道路整備**を推進し、**26カ所**を**供用**します。
- ◎平成31年度までに、浸水常襲地域において**被害軽減のための減災対策**を推進し、**概ね7割の地域で対策を完了**します。

戦 略

- 1 企業立地の支援、観光の振興など、地域経済の発展に寄与する**基盤整備**を推進します。
- 2 日常生活の利便性・快適性向上を推進します。
- 3 災害への備えなど**強靱な県土整備**を推進します。





協働の推進

みんなでかかわり 元気な地域 誇れる奈良に

目標

- ◎平成28年度までに、ボランティア活動の行動者率を、**32.7%**とします。
- ◎平成28年度までに、**認証NPO法人数を580法人**まで増加させます。
- ◎行政と企業・学校・NPO等の様々な主体との協働を推進し、**取り組み団体数を増加**させます。



戦略

- ① 県民の地域活動、ボランティア・NPOへの参画を促進します。
- ② 地域団体やボランティア・NPO団体の活動を支援します。
- ③ 協働を推進するための体制整備や個別プロジェクトを推進します。



市町村への支援

積極的な支援で、奈良を元気にする

目標

- ◎市町村の行政サービス維持向上のため、**市町村の連携・協働、活性化**を支援します。
- ◎市町村が取り組む行財政改革を県が支援することにより、**市町村財政の健全化**を図ります。



戦略

- ① 県と市町村の役割分担を踏まえた連携・協働による「奈良モデル」を推進します。
- ② 市町村の実情に応じた行政経営向上への取り組みを支援します。
- ③ 市町村の行財政運営の改善を支援します。



「主な政策集 もっと良くなる奈良県」概要版

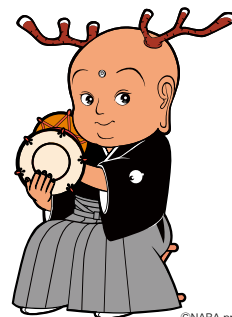
平成28年2月

奈良県 総務部 知事公室 政策推進課

〒630-8501 奈良市登大路町30

☎0742-27-8472

URL : <http://www.pref.nara.jp/15672.htm>



©NARA pref.

第32回国民文化祭・なら2017
第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会
2017.9.1~11.30開催